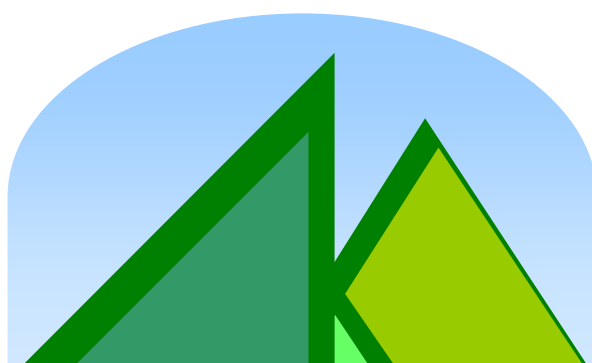


第 30 回 臨床薬理阿蘇九重カンファレンス プログラム

テーマ：臨床薬理の過去・現在・未来



臨床薬理阿蘇九重カンファレンス

日時：2011年7月16日(土)12:55 から
7月17日(日)12:00 まで

会場：レイクサイドホテル久山 別館会議場(クリスタル)
〒811-2501 福岡県糟屋郡久山町大字久原 1822

TEL：092-976-1800

FAX：092-976-1840

<http://www.lakesidehotel.co.jp>

***** 世話人 *****

| | |
|-----------------------|--------------|
| 九州大学大学院 医学研究院 臨床薬理学 | 笹栗 俊之(本年度主催) |
| 大分大学 医学部 臨床薬理学 | 大橋 京一 |
| 愛媛大学大学院 医学系研究科 病態治療内科 | 野元 正弘 |
| 九州大学大学院 薬学研究院 薬物動態学 | 家入 一郎 |

第1日目 7月16日(土) 12:55 ~ 17:30

11:30~ 受付開始

12:55~13:00 開会の挨拶

笹栗 俊之 (九州大院・医・臨床薬理学)

13:00~13:40 記念講演「阿蘇九重カンファレンス 30 回の歩み」

座長 : 樋口 駿 (福岡大・産学官連携センター)

講演 : 中野 重行 (大分大・医・創薬育薬医療コミュニケーション)

13:40~15:20 パネルディスカッション「臨床薬理学教室の歩み」

座長 : 長谷川 純一 (鳥取大・医・病態解析医学・薬物治療学)

笹栗 俊之 (九州大院・医・臨床薬理学)

演題(1) 13:40~14:00 (講演 15 分 質疑応答 5 分)

臨床試験と臨床薬理学

大橋 京一 (大分大・医・臨床薬理学)

演題(2) 14:00~14:20 (講演 15 分 質疑応答 5 分)

治療学と臨床薬理学

野元 正弘 (愛媛大院・医・病態治療内科)

演題(3) 14:20~14:40 (講演 15 分 質疑応答 5 分)

薬理学と臨床薬理学

笹栗 俊之 (九州大院・医・臨床薬理学)

演題(4) 14:40~15:00 (講演 15 分 質疑応答 5 分)

先端医療イノベーションセンター

橋爪 誠 (九州大院・医・災害救急医学)

演題(5) 15:00~15:20 (講演 15 分 質疑応答 5 分)

薬学部における臨床薬理学教育の現状と希望的展開

家入 一郎 (九州大院・薬・薬物動態学)

15:20～15:40 休憩

15:40～17:30 シンポジウム「臨床薬理のアウトカム」

座長：大橋 京一（大分大・医・臨床薬理学）

野元 正弘（愛媛大院・医・病態治療内科）

演題(1) 15:40～16:10（講演 25 分 質疑応答 5 分）

よい雑誌とよい論文：臨床試験登録と CONSORT 声明

津谷 喜一郎（東京大院・薬・医薬政策学）

演題(2) 16:10～16:40（講演 25 分 質疑応答 5 分）

出版バイアスと発表倫理

山崎 茂明（愛知淑徳大・人間情報・人間情報学科）

演題(3) 16:40～17:10（講演 25 分 質疑応答 5 分）

EBM データベースと日本の取組

内田 英二（昭和大・研究推進室）

総合討論 17:10～17:30（20 分）

第2日目 7月17日(日) 9:30 ~ 12:00

9:30~10:30 一般演題 1

座長：永井 将弘（愛媛大医附属病院・臨床薬理センター）
江頭 伸昭（九州大学病院・薬剤部）

演題(1) 9:30~9:50

抗がん剤による末梢神経障害に対するノイロトロピンの効果

- 辰島 瑤子¹、江頭 伸昭^{1,2}、川尻 雄大²、大石 了三^{1,2}（¹九州大院・薬・医薬品情報解析学、²九州大学病院・薬剤部）

演題(2) 9:50~10:10

Gabapentin による疼痛緩和効果の日内変動とそのメカニズム解析

- 楠瀬 直喜、小柳 悟、松永 直哉、大戸 茂弘（九州大院・薬・薬剤学）

演題(3) 10:10~10:30

アマンタジンにより異常運動をきたした認知症の一例

- 岩城 寛尚、辻井 智明、西川 典子、永井 将弘、野元 正弘（愛媛大院・医・病態治療内科）

10:30~10:45 休憩

10:45～11:45 一般演題 2

座長：小手川 勤（大分大・医・臨床薬理学）
安東 幸恵（九州大院・薬・薬物動態学）

演題(1) 10:45～11:05

薬物トランスポーターの網羅的遺伝子多型解析

○ 安東 幸恵、家入 一郎（九州大院・薬・薬物動態学）

演題(2) 11:05～11:25

ブプレノルフィンの薬効とオピオイド μ 1受容体遺伝子多型
(118A/G)の関連について

○ 森田 美咲¹、今井 浩光²、森田 元¹、伊藤田 瑛子¹、須崎 友
紀¹、大山 哲司³、小手川 勤²、田中 紫茉莉⁴、内田 信也⁴、
並木 徳之⁴、大橋 京一²（¹大分大医附属病院・総合臨床研
究センター、²大分大・医・臨床薬理学、³大分大・医・数学統
計学、⁴静岡県立大・薬・実践薬学）

演題(3) 11:25～11:45

2型アルデヒド脱水素酵素の遺伝子多型がニトログリセリンおよ
び二硝酸イソソルビドの血管拡張作用に及ぼす効果：ランダム化
クロスオーバー試験

○ 吉原 達也¹、坂田 智子²、有馬 久富³、白石 富美恵¹、鬼木
秀幸²、高橋 富美¹、松村 潔²、笹栗 俊之¹（¹九州大院・
医・臨床薬理学、²九州大院・医・病態機能内科学、³George
Institute for Global Health, The University of Sydney）

11:45～11:55 次回世話人挨拶

大橋 京一（大分大・医・臨床薬理学）

11:55～12:00 閉会の挨拶

笹栗 俊之（九州大院・医・臨床薬理学）